



「秋丸」という地区は2つある。秋丸のうえに「上」とつく地区におじゃました。ここは旧大野見村、今は中土佐町と境を接している所である。県道19号と四万十川の間が田んぼで、県道から上に家屋があり、かつては15世帯程あったが、今では7世帯の暮らす山里。田んぼは大川側も県道側もぐるりと柵で囲われ、獣から稲を守っている。ぐりを囲んでいますね」「サルも鹿も猪も出る。猪は売りに行くばあある」本当にどこにも増えたものだ。

上秋丸の田んぼは四万十川よりかなり高い位置にある。さりとて上の山には大きな谷はなさそう。田んぼへの用水はどこから？集落の山の斜面にまるで橋のようなものが走っている。下流にある滝本発電所を稼動するための用水で、そこからもらっているという。覗いてみると、この2月でも水は大量に流れていた。

集会所の横隣が氏神様。車で乗り込めて非常に便利だ。元々は高い所にあったのを、降ろしてきたそう。登り口には、明治



発電用水路

23年の大洪水の記録をとどめた石碑が建っている。ほれほれする大檜があったが、移転の際浄財として利用された。社は狛犬4匹が守っている。

地区の入口には一斗俵堰があり、対岸は戦後の入植地跡で今はモトクロス練習場となっている。年に2、3回は大会がある。堰の上手は瀬場が続き、夏には火振り漁の松明が揺れる。堰の下は川原を歩ける瀬が続き、ウナギのころばし漁にはもってこいの場所とみた。

集会所の前に「地球裏番地発祥の地」と書かれた看板がある。北極の真裏は南極。北緯33度18分2秒、東経133度6分33秒の上秋丸、その真裏はブラジル沖の海域になるが、最も近いブラジル国モスタルダス市を選び交流することにした、と書かれている。

2003年のふるさと再生事業での取り組みで、「この地より世界に向け友情のネットワークで創造力豊かな国際人を目指す」とある。小さな集落の大きな取り組みである。



地球裏番地



モトクロス練習場所

町のうごき

12月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	9,157	-8	男 8	20	16	12
女	10,226	-12	女 3	15	18	18
計	19,383	-20	計 11	35	34	30
世帯数	8,787	-8	12月中の届出)			

四万十川の水質状況

	適正值 (mg/L)	12月6日
リン酸	5.0	測定値以下
硝酸	0.5	測定値以下
アンモニウム	5.0	測定値以下
アニオン活性剤	1.0	0.7
化学的酸素消費量	10.0	9.138

四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部